

# エネルギー回収型一般廃棄物処理施設・新最終処分場 地区説明会 (千厩地区)

日時 令和3年6月27日(日)  
午前9時30分～午前11時  
会場 千厩市民センター

## 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 説 明

- (1) これまでの説明会の概要について
- (2) 新処理施設の焼却方式(案)について
- (3) 新処理施設の事業方式(案)について
- (4) 新最終処分場の漏水検知システムの導入(案)について
- (5) 新最終処分場の浸出水処理施設の規模の考え方(案)について
- (6) 今後の予定について
- (7) 情報提供「日本のごみ処理～世界のごみ処理との比較～」

一般財団法人 日本環境衛生センター

### 4 質疑応答

### 5 閉 会



一関地区広域行政組合公式LINEアカウント(施設整備関係)

- 登録方法
- ① 二次元コードを読み取ります。
  - ② 「追加」ボタンを押して登録します。

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設・新最終処分場  
地区説明会  
(弥栄地区)

日時 令和3年6月27日(日)  
午後1時30分～午後3時  
会場 弥栄市民センター

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 説 明

- (1) 第4回説明会までの概要について
- (2) 新処理施設の焼却方式(案)について
- (3) 新処理施設の事業方式(案)について
- (4) 新最終処分場の漏水検知システムの導入(案)について
- (5) 新最終処分場の浸出水処理施設の規模の考え方(案)について
- (6) 今後の予定について
- (7) 情報提供「日本のごみ処理～世界のごみ処理との比較～」  
一般財団法人 日本環境衛生センター

4 質疑応答

5 閉 会



一関地区広域行政組合公式LINEアカウント(施設整備関係)

登録方法 ① 二次元コードを読み取ります。

② 「追加」ボタンを押して登録します。

# くらしの情報

新処理施設・新最終処分場  
のお知らせ

編集・発行  
一関地区広域行政組合（一関市・平泉町）

## エネルギー回収型一般廃棄物処理施設・新最終処分場 建設候補地を絞り込みました

組合が検討を進めてきた、エネルギー回収型一般廃棄物処理施設（新処理施設）と一般廃棄物最終処分場（新最終処分場）の候補地について、令和2年11月27日に管理者・副管理者会議を開催し、それぞれの施設の建設候補地を次のとおり絞り込みました。

- 新処理施設建設候補地 …………… 一関市弥栄字一ノ沢ほか
- 新最終処分場建設候補地 ……… 一関市千厩町千厩字北ノ沢ほか

建設候補地の位置図（各図は、国土地理院の電子地図（タイル）に建設候補地の位置を追記して掲載）



新処理施設建設候補地（一関市弥栄字一ノ沢ほか）



新最終処分場建設候補地（一関市千厩町千厩字北ノ沢ほか）



※範囲は確定したものではありません。今後、施設の具体的な配置計画を検討していきます。

# 第4回説明会を開催しました

新処理施設と新最終処分場に関する第4回説明会を一関市及び平泉町の8会場で開催し、延べ126人の皆様にご参加いただきました。

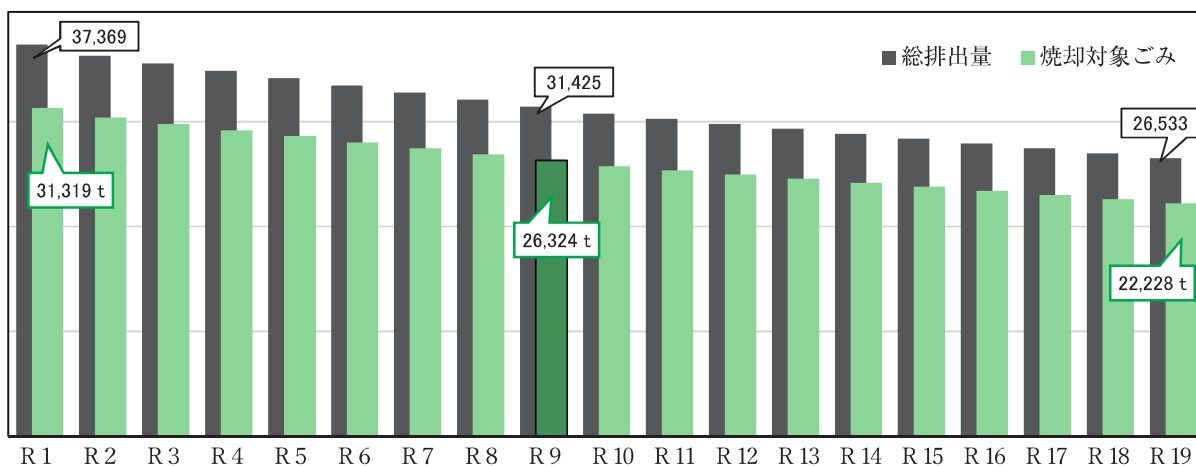
説明会では、組合から第3回説明会の概要と施設整備の検討状況について説明した後、一般財団法人日本環境衛生センターから他の自治体の事例などについて情報提供を行いました。

開催日	会 場	参加者数
11月6日(金)	刈生沢コミュニティセンター	17人
11月7日(土)	マリアージュ	35人
	一関市産業教養文化体育施設アイドーム	12人
	滝沢市民センター	13人
11月8日(日)	牧沢集会所	9人
	弥栄市民センター平沢分館	16人
11月9日(月)	平泉町役場	14人
11月10日(火)	東山市民センター	10人
計	8会場	126人

## 1 新処理施設の施設規模（案）

施設規模は、焼却対象ごみの将来推計を基に、次のとおり検討しました。

### (1) ごみの総排出量・焼却対象ごみの将来推計



### (2) 施設規模

施設規模は、施設の稼働開始目標としている令和9年度の焼却対象ごみの推計量を基に、過去10年間の災害廃棄物の処理量を加えて計算しました。

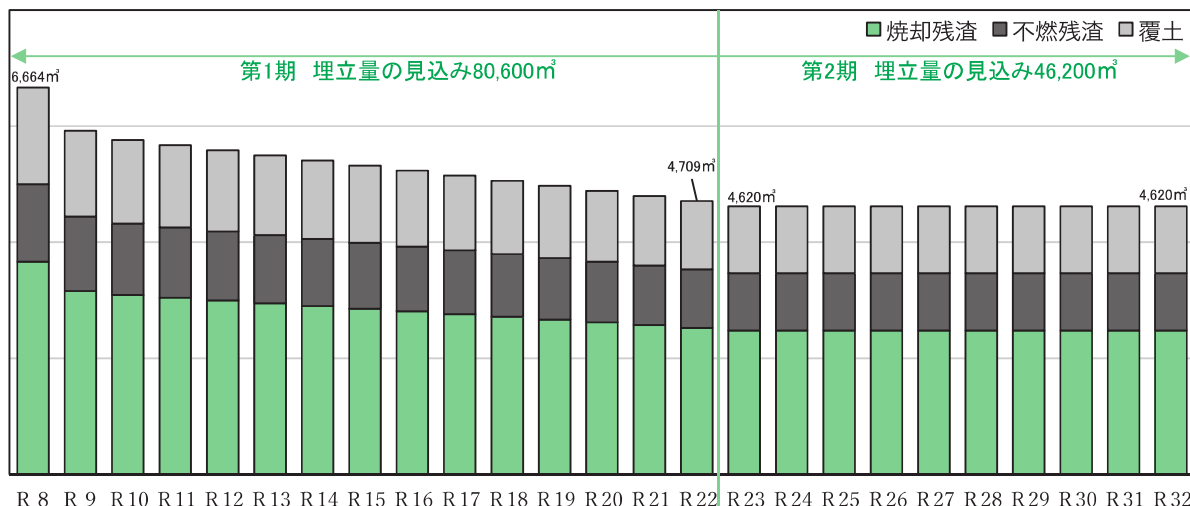
1日当たりの平均処理量	実稼働率	調整稼働率	災害対応加算	施設規模
(26,324t/年 ÷ 365日)	÷ 0.767	÷ 0.96	× (100% + 7.6%)	≙ <b>106t/日</b>

1日当たりの平均処理量：年間処理量の日量換算値  
 実稼働率：設備の補修・点検などで処理を停止する期間を考慮した稼働率  
 調整稼働率：設備の一時停止などによる処理能力の低下率  
 災害対応加算：過去10年間の最大災害廃棄物処理量の令和9年度処理見込量に対する割合

## 2 新最終処分場の施設規模（案）

施設規模は、施設の供用開始目標としている令和8年度から22年度を第1期、令和23年度から32年度を第2期の埋立期間として、埋立量の見込みを計算しました。

### (1) 最終処分場の埋立量の将来見込み



### (2) 施設規模

第1期 (15年間の埋立量の見込み) : 80,600 m³  
 第2期 (10年間の埋立量の見込み) : 46,200 m³

**施設規模 (合計) : 126,800 m³**

## 3 新処理施設で回収できるエネルギー量の見込み

ごみの焼却によって発生する熱から、新処理施設で回収できるエネルギーの種類と量を推計しました。

### (1) 電気

新処理施設では、ごみの焼却により発生する熱を蒸気として回収して発電に利用します。発電した電気は、まず新処理施設で利用し、残りは他の用途に利用できます。

発電出力	新処理施設利用分	他の用途に利用できる電力
1,633 kW	608kW	<b>1,025kW</b>

1,025kWの電力は、1か月当たりでは738,000kWh/月となります。仮に1世帯当たりの電気使用量を260kWh/月とすると、計算上は約2,800世帯分の電力となります。 ※kW(キロワット)…電力の単位

### (2) 熱量

発電に利用した後の蒸気は、50度程度の温水になります。この温水に含まれる熱もエネルギーとして利用します。回収した熱も、まず新処理施設で利用し、残りは他の用途に利用できます。

回収熱量	新処理施設利用分 (ロス分含む)	他の用途に利用できる熱量
23.2GJ/h	14.5GJ/h	<b>8.7GJ/h</b>

【新処理施設利用分(ロス分含む)の内訳】  
 新処理施設で利用する量 1.9GJ/h  
 利用できない量(ロス分) 10.2GJ/h  
 敷地内で利用する量 2.4GJ/h

8.7GJ/hの熱量は、例えば融雪に利用するとした場合、計算上は面積で6,690m²(幅員8mの道路にして836m)の熱量となります。 ※GJ(ギガジュール)…熱量の単位

## 4 候補地の評価

各施設の候補地の評価は、次のとおりです。

なお、候補地の評価は、説明会でいただいた意見を反映したものです。

### (1) 評価項目

候補地の評価の項目は、次のとおりです。

評価対象 基本方針	新処理施設整備候補地	新最終処分場整備候補地
安定性に優れた 安全な施設	受電環境 給水環境 配水管までの距離 亜炭採掘鉱区 配慮を要する構造物 土質	受電環境 給水環境 配水管までの距離 亜炭採掘鉱区 湧水・表流水 土質
環境に配慮した 施設	交通量 交差点位置 取付道路 景観との調和 自然環境への影響 生活環境への影響	交通安全 排水環境 景観との調和 自然環境への影響 生活環境への影響 周辺農地への影響
廃棄物を資源として 活用できる施設	資源の活用先	
災害に強い施設	予測される自然災害の種類 施設建設の阻害要因	予測される自然災害の種類 施設建設の阻害要因
経済性に優れた 施設	造成費 施設建設費 取付道路整備費 用地取得費 運転管理費 収集運搬費	造成費 施設建設費 取付道路整備費 用地取得費 運転管理費 運搬費
その他	総合計画・土地利用計画との整合性 協働による地域づくり 利用者の利便性 想定地権者数 想定筆数 文化財	総合計画・土地利用計画との整合性 協働による地域づくり 利用者の利便性 想定地権者数 想定筆数 工事環境

※**評価項目名** …定量評価の項目 **評価項目名** …定性評価の項目

※**評価項目名** …説明会でいただいた意見を受けて追加・変更した評価項目

### 評価の見方

課題はグレーで表示

候補地	〇〇字××ほか	〇〇字××ほか	〇〇字××ほか	〇〇字××ほか
評価項目				
受電環境				
給水環境				
配水管までの距離				
この区分において優 位と評価した候補地	○		△	◎

- ◎：最も優位とした候補地
- ：2番目に優位とした候補地
- △：3番目に優位とした候補地
- ：優劣はないと評価した区分

## (2) 新処理施設整備候補地の評価

### ① 安定性に優れた安全な施設

候補地	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
評価項目				
受電環境	優劣はない			
給水環境	優劣はない（いずれも給水区域内）			
配水管までの距離	優劣はない（270 m～640 m、設備の管理上で大きな差はない）			
亜炭採掘鉱区	鉱区外	鉱区内 詳細調査が必要	鉱区内 詳細調査が必要	鉱区外
配慮を要する構造物	J R大船渡線 特別な対策が必要となる可能性あり	高圧電線 特別な対策が必要となる可能性あり	構造物は確認されていない	構造物は確認されていない
土質	盛土流用に適している	盛土流用するには土質改良が必要	盛土流用するには土質改良が必要	盛土流用に支障はない
この区分において優位と評価した候補地	○		△	◎

### ② 環境に配慮した施設

候補地	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
評価項目				
交通量	優劣はない（いずれも十分な交通安全対策が必要）			
交差点位置	勾配の急な坂の途中、かつ見通しが悪いカーブ付近	勾配の急な坂の途中、かつ見通しが悪いカーブ付近	勾配の急な坂の途中、かつ見通しが悪いカーブ付近	他の候補地に比較して勾配が緩やかで、比較的に見通しが良いカーブ付近
取付道路	優劣はない（いずれも急勾配となる）			
景観との調和	優劣はない			
自然環境への影響	新たな土地開発を行うものであり、ある程度の環境負荷を伴う	新たな土地開発を行うものであり、ある程度の環境負荷を伴う	新たな土地開発を行うものであり、ある程度の環境負荷を伴う	既に土取場として使用されていた部分があり、他の候補地に比べて新たな土地開発に伴う環境負荷が少ない
生活環境への影響	優劣はない（いずれも300 m以内に住宅等があり、騒音などへの対策が必要）			
この区分において優位と評価した候補地				◎

### ③ 廃棄物を資源として活用できる施設

候補地	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
評価項目				
資源の活用先	優劣はない			
この区分において優位と評価した候補地	□	□	□	□

### ④ 災害に強い施設

候補地	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
評価項目				
予測される自然災害の種類	優劣はない			
施設建設の阻害要因	優劣はない			
この区分において優位と評価した候補地	□	□	□	□

⑤ 経済性に優れた施設

候補地 評価項目	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
初期費用 造成費 施設建設費 取付道路整備費 用地取得費 維持費用 運転管理費 収集運搬費	優劣はない 初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で、2.5%の差			
	(合計 360.1 億円)	(合計 361.2 億円)	(合計 352.5 億円)	(合計 359.3 億円)
この区分において優位と評価した候補地	□	□	□	□

⑥ その他

候補地 評価項目	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
総合計画・土地利用計画との整合性	具体的な開発計画などはなかった			
協働による地域づくり	現時点において、候補地間の比較をするには至らなかった			
利用者の利便性	国道や主要地方道からの距離が短く、利便性が高い	国道や主要地方道からの距離が短く、利便性が高い	国道や主要地方道からの距離が比較的長く、利便性が低い	国道や主要地方道からの距離が短く、利便性が高い
想定地権者数	優劣はない（8人～28人、用地取得上の支障とはならない）			
想定筆数	優劣はない（29筆～78筆、用地取得上の支障とはならない）			
文化財	文化財は確認されていない	文化財包蔵地が近くにある	文化財は確認されていない	文化財は確認されていない
この区分において優位と評価した候補地	◎	○	○	◎

⑦ 総合評価

候補地 基本方針(評価区分)	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
①安定性に優れた安全な施設	○		△	◎
②環境に配慮した施設				◎
③廃棄物を資源として活用できる施設	□	□	□	□
④災害に強い施設	□	□	□	□
⑤経済性に優れた施設	□	□	□	□
⑥その他	◎	○	○	◎

各区分の評価を総合し、優劣がないと評価した評価区分を除く他の評価区分で最も高い評価を得た「**弥栄字一ノ沢ほか**」が最適であると評価



### (3) 新最終処分場整備候補地の評価

#### ① 安定性に優れた安全な施設

評価項目	候補地	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
受電環境		優劣はない			
給水環境		給水区域内	給水区域内	給水区域内	給水区域外
配水管までの距離		設備の管理上で大きな差はない (60 m)	設備の管理上で大きな差はない (770 m)	設備の管理上で大きな差はない (300 m)	給水区域外
亜炭採掘鉱区		一部鉱区内 詳細調査が必要	鉱区外	鉱区外	鉱区外
湧水・表流水		表流水は主に浸透して湿地となる地形	流水はあるが、建設、維持管理上、支障はない	流水はあるが、建設、維持管理上、支障はない	多量の湧水への対策が必要
土質		高含水比のため、盛土流用には土質改良が必要	高含水比のため、盛土流用には土質改良が必要	盛土流用するのに支障はない	基盤が岩塊のため、盛土流用には適さない
この区分において優位と評価した候補地		△	○	◎	

#### ② 環境に配慮した施設

評価項目	候補地	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
交通安全		一般的な交通安全対策で対応可能	一般的な交通安全対策で対応可能	一般的な交通安全対策で対応可能	防護柵等の交通安全対策が必要
排水環境		近くの河川に漁業権が設定されていない	近くの河川に漁業権が設定されていない	近くの河川に漁業権が設定されていない	近くの河川に漁業権が設定されている
景観との調和		優劣はない			
自然環境への影響		優劣はない (いずれも新たな土地開発であり、ある程度の環境負荷を伴う)			
生活環境への影響		優劣はない (いずれも500m以内に住宅があり、騒音などへの対策が必要)			
周辺農地への影響		優劣はない (いずれも下流の水田への配慮が必要)			
この区分において優位と評価した候補地		◎	◎	◎	

#### ③ 災害に強い施設

評価項目	候補地	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
予測される自然災害の種類		優劣はない			
施設建設の阻害要因		優劣はない			
この区分において優位と評価した候補地		□	□	□	□

#### ④ 経済性に優れた施設

評価項目	候補地	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
初期費用 造成費 施設建設費 取付道路整備費 用地取得費 維持費用 運転管理費 運搬費		初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で5%以内  (合計 53.7 億円)	初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で5%以内  (合計 56.2 億円)	初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で5%以内  (合計 54.4 億円)	初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で20%を超える  (合計 66.1 億円)
この区分において優位と評価した候補地		◎	◎	◎	

⑤ その他

候補地 評価項目	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
総合計画・土地利用計画との整合性	具体的な開発計画などはなかった			
協働による地域づくり	現時点において、候補地間の比較をするには至らなかった			
利用者の利便性	二車線道路からの距離が短く、利便性が高い	二車線道路からの距離が比較的長く、利便性が低い	二車線道路からの距離が短く、利便性が高い	二車線道路からの距離が比較的長く、利便性が低い
想定地権者数	優劣はない（5人～28人、用地取得上の支障とはならない）			
想定筆数	優劣はない（8筆～47筆、用地取得上の支障とはならない）			
工事環境	敷地内で掘削土の搬出や建築資材の仮置場が確保できない	施工上の大きな課題はない	施工上の大きな課題はない	敷地内で掘削土の搬出や建築資材の仮置場が確保できない
この区分において優位と評価した候補地	○	○	◎	

⑥ 総合評価

候補地 基本方針(評価区分)	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
①安定性に優れた安全な施設	△	○	◎	
②環境に配慮した施設	◎	◎	◎	
③災害に強い施設	□	□	□	□
④経済性に優れた施設	◎	◎	◎	
⑤その他	○	○	◎	

各区分の評価を総合し、優劣がないと評価した評価区分を除く他の評価区分で最も高い評価を得た「千厩字北ノ沢ほか」が最適であると評価

## 5 主な質問や意見

質問	回答
候補地を評価するに当たり、候補地周辺の住宅などの状況を評価するべきではないか。	候補地の評価項目に追加します。
候補地の評価案のとおり建設候補地が決定するのか。	説明会で説明したのは、これまで進めてきた評価作業の結果であり、建設候補地をそれぞれ1か所に絞り込むに当たっては、今後、組合の構成市町である一関市と平泉町と協議し、年内に絞り込みたいと考えています。

組合では、住民の皆様からいただいたご意見などを踏まえながら、より良い施設となるよう施設整備検討委員会で検討し、事業を進めてまいります。詳しくは、組合ホームページをご覧ください。

今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■問合せ先 一関地区広域行政組合 総務管理課

〒021-8501 一関市竹山町7-2

TEL 21-2111 内線 8751 FAX 31-3224

一関地区広域行政組合ホームページ

URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/kouiki-gyousei/>



## エネルギー回収型一般廃棄物処理施設・新最終処分場

## 第5回住民説明会のご案内

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設（新処理施設）と新一般廃棄物最終処分場（新最終処分場）に関する組合管内（一関市・平泉町）の住民の皆様を対象とした第5回説明会を次のとおり開催します。どなたでもご参加いただけますので、ご都合のつく会場にご参加くださいますようお願い申し上げます。

## 1 主な説明内容

- (1) 建設候補地の絞り込みの経緯について
- (2) 施設の概要について
- (3) 今後の予定について

## 2 日時及び会場

日付	開始時間	会場	定員
6月26日(土)	午後6時30分	川崎市民センター (一関市川崎町薄衣字諏訪前7-1)	約100人
6月28日(月)	午後6時30分	平泉町役場 (平泉町平泉字志羅山45-2)	約40人
6月29日(火)	午後6時30分	一関市産業教養文化体育施設アイドーム (一関市東台50-46)	約40人

- ◆ 説明会は1時間30分程度を予定しています。
- ◆ 来場者が定員を超えると、入場を制限する場合がありますのであらかじめご了承ください。

## ご来場される方へのお願い

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、次の事項についてご協力をよろしくお願いいたします。  
発熱、咳、全身痛、風邪などの症状がある場合は、来場をご遠慮願います。

マスクをご持参の上、着用してご入場ください。

入口で手指消毒をしてからご入場ください。

人と触れ合わない距離を開けてお座りください。

咳やくしゃみをするときは、マスクやハンカチ、ティッシュペーパーなどで口をしっかりと覆うよう、「咳エチケット」にご協力ください。

30分に1回程度は会場の換気を行いますので、ご了承ください。

# 説明会を開催しました

## ○建設候補地周辺自治会説明会

回	対象施設	開催日	会場	参加者数
第1回	新最終処分場	12月19日(土)	マリアージュ	24人
	新処理施設	12月20日(日)	弥栄市民センター平沢分館	27人
第2回	新最終処分場	3月13日(土)	マリアージュ	20人
	新処理施設	3月13日(土)	弥栄市民センター平沢分館	17人

## ○建設候補地周辺土地所有者説明会

回	対象施設	開催日	会場
第1回	新最終処分場	2月6日(土)	千厩市民センター
	新処理施設	2月6日(土)	弥栄市民センター平沢分館

## 第1回建設候補地周辺自治会説明会

### 1 主な説明内容

- (1) 建設候補地絞り込みの経緯について
- (2) 施設の概要
- (3) 今後の予定について
- (4) 専門家からの情報提供「施設の整備手順」

### 2 主な質問や意見

質問	回答
(新最終処分場) 新最終処分場からの排水は、北ノ沢川に放流されるのか。	埋立地からの浸出水については、水処理施設で処理して放流する。放流先は、生活環境影響調査を実施して検討する。
(新処理施設) 交通量の増加や環境への影響が心配である。	交通安全対策は、道路管理者と協議して対応していきたい。排ガスなどについては、排出基準を基本に自主基準値を定めて対応する。
(新最終処分場・新処理施設) 理解促進を図るために施設見学の機会を設けてほしい。	新型コロナウイルスに対する社会情勢などを見極めながら、施設見学の機会を設けたい。
(新最終処分場・新処理施設) 意見集約のために、地元組織が必要ではないか。	組織化していただければ、組合としても望ましいと考えており、今後、相談していきたい。

## 第2回建設候補地周辺自治会説明会

### 1 主な説明内容

- (1) 第1回建設候補地周辺自治会説明会の概要について
- (2) 第1回建設候補地周辺土地所有者説明会の概要について
- (3) 令和3年度の取組予定について
- (4) 地元組織について
- (5) 専門家からの情報提供「環境影響評価と生活環境影響調査の進め方」

### 2 主な質問や意見

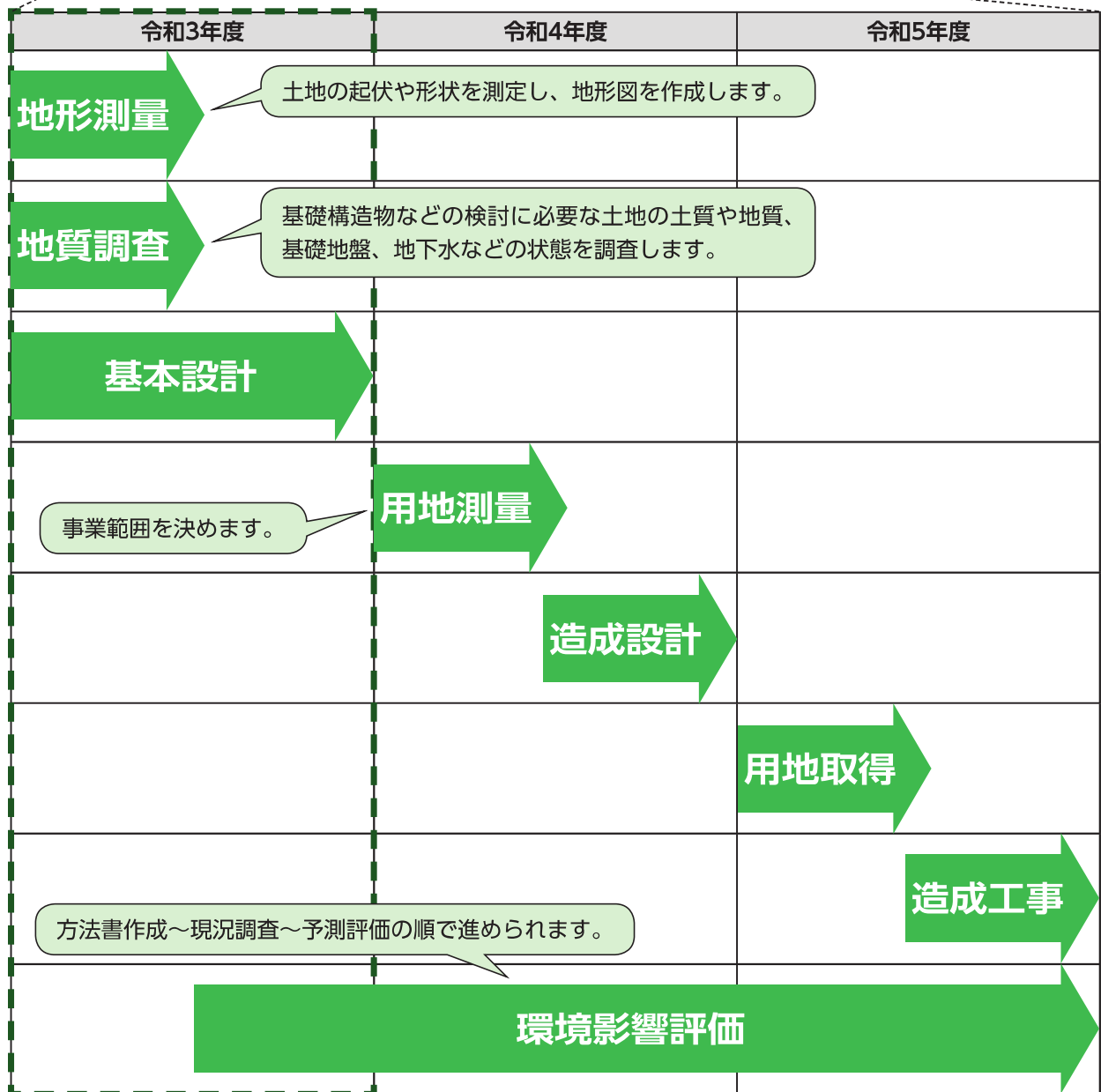
質問	回答
(新最終処分場) 若者に説明する機会を設けてほしい。意見の取り上げ方を工夫してほしい。	組合としても若い方々やこちらにおいでになられない方々にもぜひ説明を行いたいと考えている。時間帯や曜日を工夫しながら進めていきたい。
(新最終処分場) 地下水を利用している。また、臭いや粉じんなどにも不安がある。	今後、生活環境影響調査を行う。不安に思っていることや意見をたくさん出していただきたい。

# 今後の取組予定について

令和3年度は、地形測量、地質調査、基本設計、環境影響評価（新処理施設）、生活環境影響調査（新最終処分場）などを予定しています。

## 【新処理施設】

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業内容	測量 環境影響評価 基本設計など			建設工事			令和9年度中 稼働開始



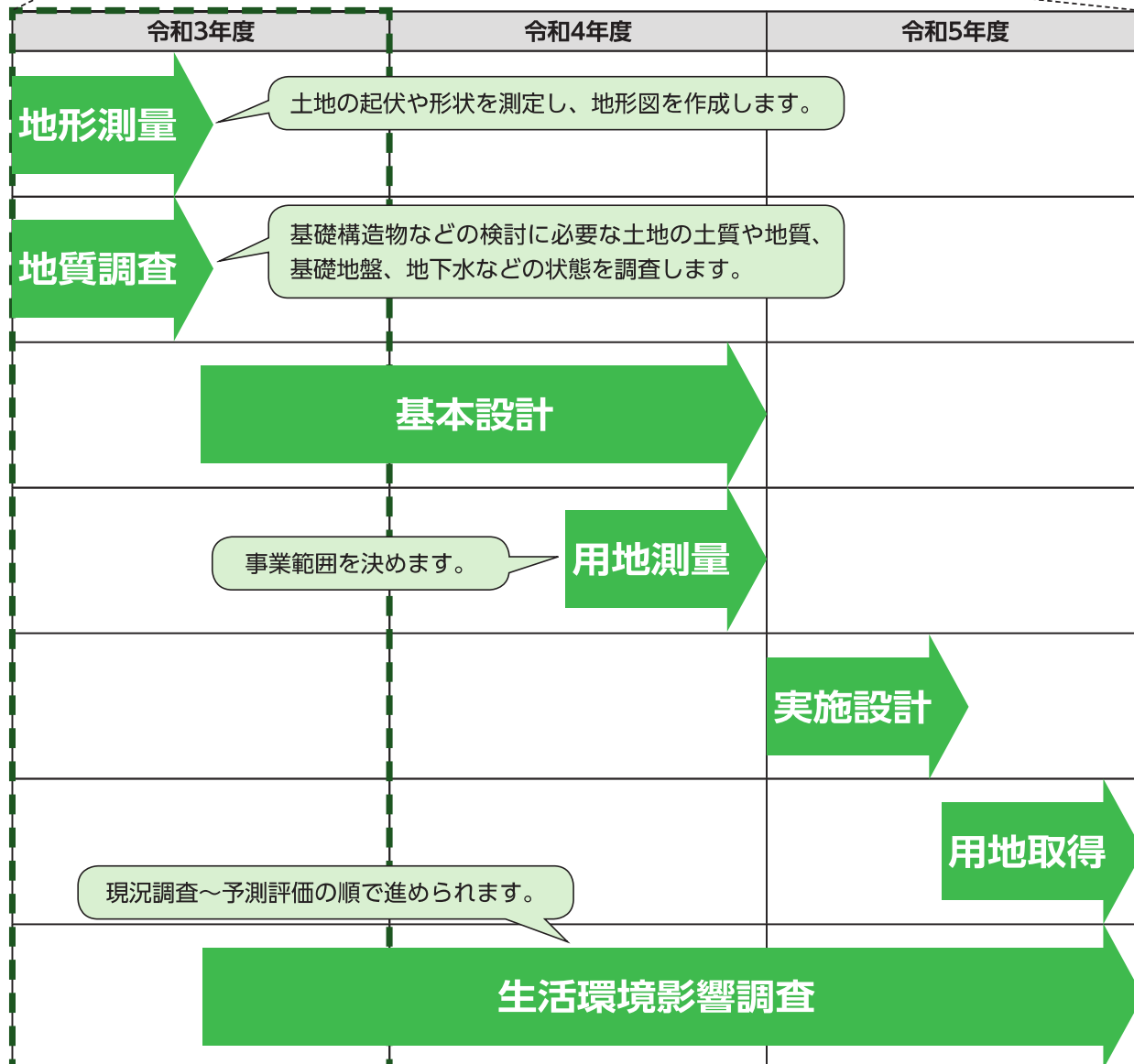
### 環境影響評価とは

- ・開発事業が環境にどのような影響を及ぼすかを、
- ・開発事業者自らが調査・予測・評価し、その結果を公表して、関係者の意見を聞き、
- ・意見を踏まえて環境保全の観点から、より良い事業計画を作り上げていく制度です。

岩手県では、1時間当たり4トン以上のごみを焼却処理する施設に環境影響評価の実施が義務付けられています。

## 【新最終処分場】

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業内容	測量 生活環境影響調査 基本設計など			建設工事		令和8年度中 稼働開始



### 生活環境影響調査とは

施設が周辺地域の環境に及ぼす影響をあらかじめ調査して、地域ごとの生活環境に配慮したきめ細かな対策を検討した上で、施設の計画を作り上げていく制度です。

組合では、住民の皆様からいただいたご意見などを踏まえながら、より良い施設となるよう施設整備検討委員会で検討し、事業を進めてまいります。詳しくは、組合ホームページをご覧ください。

今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■ 問合せ先 一関地区広域行政組合 総務管理課

〒021-8501 一関市竹山町7-2

TEL 21-2111 内線 8751 FAX 31-3224

一関地区広域行政組合ホームページ

URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/kouiki-gyousei/>

